



《 出発する者にとって挑戦、残る者にとっては夢 》

ダカール・ラリー創設者
ティエリー・サビーヌ

究極の趣味

ダカール・ラリーは南米を数か国またぎ、12のステージで行われるラリーレイド。

しかし、それは類をみないヒューマンアドベンチャーです。

その歴史は、世界で最も美しい砂漠を舞台に老若男女に開かれた最も過酷なスポーツ競技として始まりました。究極のオリエンテーション・コースのレース、ダカール・ラリーは世界でトップクラスのラリーレイド競技者が世界でトップを目指す競技であり、アマチュア選手が夢を果たしに、人生最大の挑戦に挑むアドベンチャーでもあります。40年も続いてきた、2輪、クワッド、トラック、4輪と一緒に競技し、60か国以上の国から500人もの競技者が2週間かけて戦う、途方もないヒューマン・ヒストリーをそれぞれが描く、ユニークなレースです。

世界最大のラリー・レイド



競技者 500人以上
60か国から参加



走行距離 約 10,000km



南米で 10度目の大会



競技期間 15日間

ダカール・ラリーのヴァリュー

特異なヒューマン・アドベンチャー、ダカール・ラリーは参加者が心の底から変わることができる抜群のスポーツ・イベントです。競技者は人生でこれまで味わったことの無い濃い瞬間を過ごし、究極のセンセーションを味わうことでしょう。

安全にこだわるダカール・ラリー

競技者だけでなく一般観衆やレースに同行している関係者遠因の安全は、主催者にとって最大の心配事です。他の全ての極度のアドベンチャー・スポーツ大会同様、ダカール・ラリーも事故などの多くのリスクがあります。主催者はそれを最大限少なくしようと、あらゆる手を尽くしています。毎年、どうしたら皆の安全を図れるか可能性を見直ししています。

観衆用セキュリティゾーン



22 000 人
警官、地方警察、兵隊
が観衆の保護にあたる



51 か所
セキュリティ・ゾーン
(パラグライ 9 か所、ホリビア 16 か所、
アルゼンチン 26 か所)
アルゼンチンの観衆は際立って多い



30 人
ロード・セキュリティ
アルゼンチンの
ロード監視人



15 台
パトロール・カー
一般人の安全監視

OCP(オペレーショナル・コーディネーション・ポスト) : レースの管制塔

35 人

現場とパリの管制塔、24 時間体制で、競技者の情報をコントロール

最先端のメディカル・サポート



1 か所
キャンプ地に設営される病院



1 機
メディカル飛行機



7 機
メディカル・ヘリ



32 台
移動救急隊



60 人
医療関係者

観客エリアと安全対策

22,000 人の警察、地方警察と軍部が一般の人々とラリーの安全を確保しています。

ダカール・ラリーは南米で驚異的な成功をおさめ、2016 年には 440 万人の観衆が集まりました。観客の安全と警備の為に観客エリアを設けており、2017 年大会では 51 か所が設置されました。

この観客エリアの案内は、大規模な広告キャンペーン展開され、ラジオ、テレビや新聞、チラシなどで早い段階から告示されています。また、観客エリアは通過する 3 日前に、公式ウェブサイトや地元メディアを通じて案内されています。

観衆が非常に多く込み合うアルゼンチンでは、観衆ばかりでなく一般の通行者に対して、30 人のロード・セキュリティ(Seguridad Vial) と、15 台のパトロールカーが交通安全に当たっています。

交通安全対策

競技者ばかりでなく、参加しているすべての車両(アシスタントカーや、主催者関係、メディカルカー、カミオンバレーやケータリングといった関係者も含め)ドライバーはスタート前に安全運転の誓約書にサインします。

各国の道交法を遵守することは、ダカール・ラリー一行の絶対的義務です。

競技者の GPS 記録は分析して、違反者はペナルティの対象となります。また、スピード違反は地元の警察も並行して実施します。

ラリーの管制塔、OCP(オペレーショナル・コーディネーション・ポスト)

ラリーの情報はイリトラック、緊急用ビーコン、無線など全ての情報機器を通じて、OCP 管制塔(オペレーショナル・コーディネーション・ポスト)に集められます。

OCP は現場に 1 ケ所、パリに 1 ケ所設置され、35 人のスタッフが 24 時間体制で対応します。2016 年大会では 2 輪&クワッドのトラッキング機器が倍増されました。

その他、通過国の当局と主催者とで、事前に安全対策のシミュレーションが実施されています。

最先端の緊急メディカル・サポート

メディカル・ヘリ 7 機、コース上をパトロールする車両 32 台、そのうちの 10 台がメディカル・カー。

ビバークに設置される、最先端の機材をそろえた特設病院。

60 人のメディカル・スタッフ。

ホスト国の病院に最短の時間で輸送可能なヘリコプターによる輸送



環境に配慮するダカール・ラリー



環境保護
自然・遺産保護
各国の当局と協力
してコース設定



ゴミ回収
現地当局と共同で
ゴミを回収&処理
ビバークに 58 か所の収集場所



100 トンのリサイクル
ビバークで回収
分別ゴミを再利用



100%
カーボンオフセット
699,730 \$を
アマゾン森再生に投入

環境・歴史的遺物を配慮したコース設定

南米には考古学的保存地区や古生物の残る地域があります。ダカール・ラリーはコースを設定するにあたって、ボリビアの文化庁やアルゼンチンの環境庁と ASO の担当者が共同で現場を確認しながら作業を進めています。

後片付け、ゴミ・特殊廃棄物などの処理

ビバークでは全員がゴミの分別に協力。2016 年大会では“Punto Verde”(ゴミ収集所)が 58 か所が設置されました。ダカール・ラリーが立ち去った後、政府当局がビバーク跡地をチェックします。

特別な廃棄物の処理は地元の専門の業者に委託しています。

2016 年大会ではアルミニウム 14 トン、段ボールや紙類 5 トン、ビン類 7 トン、オイル類 980 リットル、フィルター 49 トン、のゴミを処理、その他タイヤや車両パーツも業者が回収しました。

ダカール・ラリーはカーボンオフセット 100%

ダカール・ラリーで排出されるカーボン・フットプリント(車などが走行したことで生じる温暖化ガスを CO2 に換算したものは 15,500 トン、ダカール・ラリーに直接的・間接的に大会に関連した総排出量の 48%を占めています。ダカール・ラリーのコース設定の為の下見走行、主催者や競技者、資機材などの輸送、ロジスティックなどの走行にかかわる CO2 排出に対し、私たちは 6 年前から代償を払っています。ダカール・ラリーは 6 年前、つまり 2011 年以來、マドレ・デ・ディオス(ペルー)の環境プロジェクトに参加し、総額 699,730 \$ (約 8,400 万円)を投入しました。ペルーのアマゾンで森林伐採との戦うプロジェクトで、破壊の危機にある森林約 120,000 ヘクタールを向こう 10 年間をかけてよみがえらせるというものです。www.madrededios.com

ダカール・ラリーの現地支援活動

テ CHO“TECHO”に 140 万ドル支援

アルゼンチンで活動する非営利団体テ CHO(TECHO)は社会的弱者のための援助プログラムや被災者などに住居建築を行っています。ダカール・ラリーは 8 年連続して支援を行ってきました。2017 年も継続します。

・2009 年から今までに主催者とエントラントより 1,349,000\$

(約 1 億 6,200 万円)支援金が送られました。

・緊急用の住宅建設 350 軒

・ナセル・アルアティヤが 2012 年 2014 年、10 万 US\$を支援



OPERATION TECHO - Santosh Chunchunguppe Shivashankar - n°42 / © A.S.O

日程 エントリー関係

- 2017年5月15日 エントリー受付開始
- 2017年7月15日 2輪&クワッド エントリー締め切り、エントラント選定
- 2017年11月1日 4輪&トラック エントリー締め切り




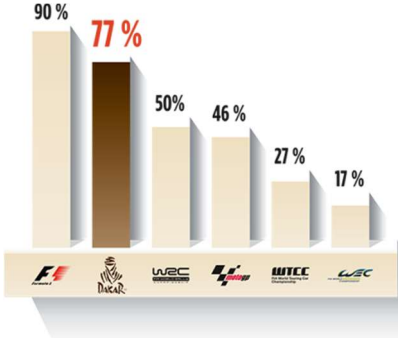
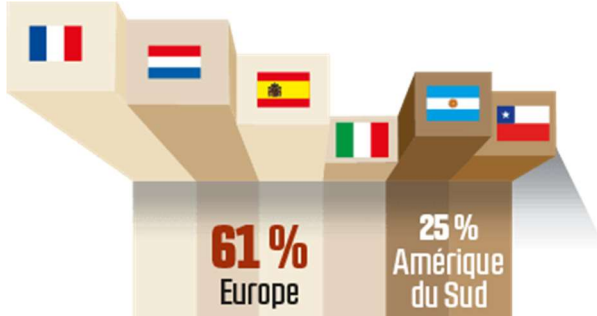



2018大会の諸費用・間もなく発表

全体の参加費を再検討中しています。下記が検討事項です。

- **リピーター割引**：全カテゴリーで、リピーターに“レギュラー”(2~9回)、“レジェンド”(10回以上)の参加者には割引。
- **競技者はダカール・ラリー大使**：競技者を紹介、推薦してくれた競技者には謝礼金
- **ダカール・ラリー宣伝に協力してくれた競技者**：ダカール・ラリー参加について広く地元(自国)で情報を発信してくれた競技者には謝礼金
- **アシスタンス部門**：参加者ができるだけ快適になれるよう、様々な試み。南米で牽引車の使用、またはレンタルができるよう検討中。

2017年大会 数字でみるダカール・ラリー

世界最大のラリー・レイド

 <p>大会 40 回目</p>	 <p>29 通過国</p> <p>ヨーロッパ 3 国 南米 5 国 アフリカ 21 国</p>	
 <p>・世界で 2 番目のモータースポーツ ・知名度 77%</p>  <p>*ソース: Repucom</p>	<p>2017年大会 出場者の国籍 60 か国 (アシスタンス部門 含む)</p> 	
 <p>+ 450 万人 観衆者数</p>	 <p>26 % 初めての競技者</p>	 <p>501 台 スタート競技台数</p>

壮大なスケールのメディア露出







 <p>1,200 時間 テレビ放映時間の総計</p>	 <p>70 テレビチャンネル 190 か国で放送</p>	 <p>1,460 人、32 か国 登録した現場取材の ジャーナリスト</p>
--	--	--

絶大な経済効果






	<p>南米で大会を実施し始めた 2009 年以降</p> <p>直接経済効果 10 億 US\$以上 (=約 1,200 億円)</p> <p>ホスト国への経済効果 3 億 US\$/年 (=約 360 億円/年)</p>
---	---



ソーシャルメディア・インパクト

 <p>2,300,000 ファン</p>	 <p>1,717,300 ファン (+ 23 % vs 2016)</p>	 <p>349,500 フォロワー (+ 22 % vs 2016)</p>	 <p>252,000 フォロワー (+ 56 % vs 2016)</p>
 <p>4,200,000 Live にダイレクト・ア クセス した数 (+ 61 % vs 2016)</p>	 <p>ダウンロード数 441,000 オフィシャル・モバイル (OS とアンドロイド) (+ 6 % vs 2016)</p>	 <p>アクセス数 9,007,000 Dakar.com</p>	 <p>動画 23,600,000 回 (+ 45 % vs 2016) Facebook, ツイッター, ョ ン Dailymotion, ユーチュー ブ、L'Équipe</p>

エコ配慮のイベント

 <p>現地省庁とコラボで環 境・自然・遺産に配慮し たコース設置</p>	 <p>徹底したゴミ分配と処理 現地の当局と協力 特殊廃棄物は専門業者が担当</p>	 <p>100 トン 回収しリサイクルされたゴミの量 ビバークに 58 か所の“プント・ベ ルデ” (集配所)</p>
 <p>100% カーボンオフセット</p> <p>ダカール・ラリーで出した温室効果ガスに対し、アマゾン森林を再生するプロジェクト“マードレ・デ・ディオス”(ペルー)に約 8,400 万円を投入</p>		 <p>400 以上 現地支援プロジェクト アルゼンチンの民間 NGO テチヨ 協会に約 1 億 6,200 万円支援</p>